

JAITI 53

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

2015年の大震災から2年、被災地の復興も道半ば。また、ネパールの政治も新しい憲法の道筋の終着点が見えない状態が続いています。隣国インドとの関係や政治体制の軋轢など課題はまだ多いと言えますが、現在、各県ごとに行われている地方選挙の流れなどに併せて、新たな制度が具体的に動き出している様子も伺えます。

ジャイチにかかわるこれまでの情報の中からも、教育制度の見直しや若者の結婚年齢の制約などが伝えられており、ジャイチの活動にも少なからずの影響が及んでくること懸念されますが、新しい国づくりの過程を見つめながらネパールの人々の思いに寄り添って行きたいと思えます。

◆学校の様子

バシファント校では、地震による被害が最も大きかった3年生の教室は、



レカリ校の壁にヨーロッパの大学生ゼミによって描かれた衛生教育の模式図

ジャイチ支援者の災害救援

バシファント校では、地震による被害が最も大きかった3年生の教室は、

うこととしている2年生の教室は、未だに予算の配分が無く、壁や床がびび割れた当時の状態のままとなっており、今も仮設の小屋を使用しています。

レカリ校でも、棄損した校舎の改修は政府の手当てが遅れており、同様に仮設の教室での授業が続けられている状況です。当レカリ校では1〜3年生27人ほどが、2クラスに分かれて学んでいます。将来バシファント校との連携が一段と進むことも考えられるところではあります。

一方で、政府の予算により、みずずホールの周辺の敷地内に2棟の学生宿舎の建設が現在行われており、生徒が勉学に集中できる環境づくりが進められています。

なお、バシファント校は設立から25周年を迎えるまでになりました。既発行の第50号でも設立の経緯に触れています。全体的に教育を受ける機会を」として始まったジャイチの活動から、その後地域の人々に受け継がれて現在に至っています。

教育制度が変化してきている中で、地域が果たす役割も大きく変わって来るものと思われれます。



▲カカニ・ブライター学校の近くで建設されている政府の学校

し、家庭の状況や保護者の意向でそれぞれの学校を選択しているのが現状です。私立学校への入学生徒が減少傾向にある背景として、震災に加えて、最も大きな影響を及ぼし始めているものに、ネパール政府の教育方針の転換が進みつつあることにあります。(詳細中面参照)

◆理事会・評議員会を開催

新年度の事業計画、予算案および28年度の事業報告、収支決算のための理事会を3月と5月に開催し、6月に開催された評議員会において原案どおり承認されました。

昨今の経済動向から基金の運用も非常に厳しい状態が続いており、限られた財源の中で効果的な活動を推進していくよう努めています。

カカニ地区周辺には、ブライター学校を含めて少なくとも6つの学校があり、うち4校は政府管掌の学校で、もう1校は地元有志25人ほどで運営しているブライター学校と同様の私立学校があるなど、限られた地域に多くの学校が存在



▲新調されたカカニ・ブライター学校のスクールバス

ジャイチネパールから



▲バシファント校で教職員を前に研修会

楽しい学校環境をつくるために

レカリ・バシファント学校では、5月2日から4日にかけて、学校における肉体的、精神的、心理的などのいろいろな暴力を減らし、楽しい学校の環境をつくることを目的に「学校環境における暴力に対するプログラム」の研修を行いました。

人ほどは、こうしたプログラムは初めての体験で、いろいろな活動を通して楽しく授業を行う環境づくりのために、思いを新たにしています。

(ジム・ラル・グルン)

カカニ・ブライター 学校の優秀な進学生に奨学金

ネパールの学校では10年の就学を終えると卒業試験としての試験（SLC試験）が行われていたが、ことこのところの教育制度の見直しによって、今までのSLC試験はSEEと呼ばれるようになりました。カカニ・ブライター学校を卒業して自分が志す学問レベルに相当する成績を挙

げて11年生に進学するためにはカトマンズへ行く必要がありすが、経済的負担が大きく進学は難しい状況にあります。

現在、ブライター学校を優秀な成績で卒業した4人の生徒が、カトマンズでも有名校であるリトルエンジェルズカレッジ・ゴールデンゲートカレッジおよびヒマラヤンホワイトハウスカレッジに進学して科学の勉強に励んでいます。

毎年一人当たり25万ルピーを必要とする学費をサポートするために、ジャイチネパールのアドバイザーであるジム・ラル・グルンさんと以前から良好な関係にあるこれらのカレッジでは、この4人の学生に完全奨学金により勉強ができるよう段取りをしてくれています。

ジャイチネパールでは、この奨学金を配慮してくれたカレッジの経営者の皆さんに大いに感謝をしています。

(ジム・ラル・グルン)

進学して勉強に励んでいる生徒

- スマン・ラマ
- スシヤント・ラマ
- デヴェンドラ・タマン
- スリジャナ・ライ

新しい法律を学ぶために

ネパールでは、これまでも若い女性がインド方面に身売りをされるケースが多く見られており、社会的問題でもあることから、新しい制度として、人身売買にかかわった者は懲役20年の刑が課せられることや、20歳以下の結婚は原則禁止などの措置が取られることになってきました。

人身売買については、カカニ・ブライター学校のあるヌワコット郡でも比較的那の数が多いとのデータが示されているようです。

このような背景から、ブライター学校では、このほど、ジャイチネパールとチルドレンネパールポカラが主催

して、高学年の生徒と保護者を対象に、若者の結婚と人身売買に係わる新しい法律について、専門家を招いて講習会が開催されました。

また、6月にはバシファント校でも同様に行っています。

学校ではいまでも、就学中に結婚して学校をやめてしまう生徒が見られますが、新しい法律の下で、これらの理解が進むと家族の在り方や生活にも変化が出てくるのかも知れません。



教室と校舎に時計を新調

ブライター学校の各教室と校舎の外壁に時計が新調されました。これは、当学校の建設にあたって多大な資金を提供された新潟市の帯瀬憲五様から、この度、学校のためにと再度のご厚意により寄贈していただきました。

先の年末年始を利用して帯瀬様ご夫妻をはじめお孫さんを含めたご家族一行がブライター学校を直々に訪れ、生徒たちの民族舞踊による大歓迎を受けた中で贈呈式が行われ、学校全体で喜びと感謝の意が表されました。



▶バシファント学校でも生徒たちに説明会



▶道路沿いで見かけた人身売買の注意看板



▶カカニ・ブライター学校の校舎に掛けられた大時計

進む造成工事

カトマンズ市内には、未だに震災時の避難テントで暮らす人たちの姿が見られます。また、地方から仕事を求めて人口が膨れつつある状況からか、住宅事情は大きな問題となつているようです。これまでもカトマンズ市街周辺の農地は急速に宅地などに様変わりしてきていますが、そんな事情を反映するかのよう、郊外に足を運んでも至るところで宅地造成らしき工事を行っている姿を目にします。

農地であつた比較的平坦な地形での造成はともかくも、中には山肌を削り取った斜面に区画線を入れただけの状態で分譲が始まつている場所も見受けられ、需要の高さを伺わせませんが、土砂崩壊や安全性が危惧されるような状態もあり、秩序ある開発が行われることが望まれます。



▲山肌を削り造成工事が進められているカトマンズ郊外

インフラ整備にも

公共工事のうち、カトマンズ市内のメイン道路の拡張はほぼ済んできており、現在、市内の幹線水路であるバグマチ川（火葬が行われることで有名なパシヤシナートを流れる川）の河川改修が橋梁も含めて大々的に行われています。

ゴミとヘドロの流れる劣悪な河川環境から、近い将来には水鳥が遊ぶ川になつて欲しいものです。

また、カカニへ通ずる山道も拡幅工事が着々と進んでおり、車社会に対応した道路環境が整ってくることにより、一層カトマンズ市街地との距離が近くなり、ライフスタイルも変化を余儀なくされることが予想されます。現に、街道筋に構えていたいくつかの宿泊施設や飲食店などは、利用する者の姿があまり



▲人海戦術で行われているカカニへ通ずる道路の拡幅工事

り見られなくなつていきます。

クラクションに罰則

前号の巻頭文で、市内の車の往来が静かになつたことに触れましたが、そこには深い意味があつたことを後の情報で知りました。無意味にクラクションを鳴らした者には500ルピー（約540円）の罰金が課せられる制度ができたということですが、また、横断歩道以外を渡つた歩行者にも200ルピーと、やはり、罰金刑は相当効力があるようです。

市内を走り回る車の多くは、個人タクシーらしき賃稼ぎの車ですが、運転席を見ると、それらしく運賃メーターは付いているものの適正に作動しているものは少なく、スピードメーターも針が0を差したままで、とにかくエンジンが掛かつて、ブレーキが効けばよしといった状態の車に乗ることはよくあることです。運転手も特にお客に気を遣うわけでもなく、収入になればよいことなので、このような車を拾ってしまった時はタクシー代は交渉次第ということになつてしまいます。

一円でも多く収入に結び付けたい運転手からすると、罰金は大きな痛手になるといふことなのでしょう。クラクションをむやみに鳴らさなくなりました。

ジャイチネパールレポート

困難な局面を迎えたカカニ・ブライター学校の今

今年度のブライター学校の入学者数が300名の目標を達成できませんでした。新しく入学してくる生徒の減少に加えて、これまで在学していた生徒たちも何人かが学校をやめました。

この理由は

1、政府の教育政策の転換

およそ20年ぶりに行われたネパールの地方選挙の後、政府は新憲法により、地方自治体とみなされている市町村レベルに教育予算をほぼすべて解放しました。これを受けて市町村では政府の援助で運営されている公立学校の改善を進めており、英語教育も積極的に進めるなど教育の質の向上にも取り組むようになりました。

また、公立学校は授業料がかからなために、保護者たちは敢えてお金を掛けて私立の学校へ子どもを入れる必要性がなくなつてきています。

2、試験制度の変更

これまでは、10年の就学を終えると卒業試験でもあるSLCという国家試験を受験し、その成績の如何により卒業または上部へ進学するシステムが取られていましたが、この試験制度が変り、新しい制度では落第させるといふことが無くなりました。

カカニ地区の若者たちも、他地区と同様にその多くが湾岸諸国や働ける国へ出稼ぎに行く傾向があり、子どもたちは単に合格だけすれば十分のた

めに、SEE学校教育審査で良い成績で合格する必要も無く、保護者にもこうした認識があります。

3、公立学校を優先

優秀な成績を収め、医学、科学、工学、農林業などの学部に進学する学生には、政府から奨学金が支給される機会がありますが、この奨学金を受ける選定にも公立学校の学生が優先されることから、一部の学生の中には政府支援の公立学校を選択する方向に動いているようです。

このように、政府の新しい政治政策の転換により、農村部の私立学校は大きな影響を被ることになり、学生人数および収入の減少により学校経営は困難な状態に直面しています。



▲生徒数が少ない教室が見られるようになってきた

2016年12月21日〜2017年6月20日迄順不同敬称略

ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

◆ 人的協力

〈東京都〉 滝和美
 〈神奈川県〉 小林みよ子
 〈長野県〉 白井千鶴子、柿島明子、菊池健介、株式会社北澤土建、有限会社佐藤新聞店、田村由紀子、根岸厚次・真貴子、松久よし子
 〈福岡県〉 ウツタム・タパ
 〈海外〉 ネパール ホテル サンセットビュロー・アル ジュン・シン／絃子・トラチャン

◆ 寄附金

〈北海道〉 小野倫夫、内藤喜美子、水口馨
 〈茨城県〉 魚津慶子、折本拓郎、長谷川秀雄、藤井英雄
 〈栃木県〉 森聖哉



「薪を運ぶ少女」 絵 マン

〈群馬県〉 島田寛治、橘眞智子、堀越利通
 〈埼玉県〉 齊藤節子、松本成生
 〈千葉県〉 青木洋、浅井邦彦、高橋節子、武藤貴子、吉村芳江、横館久宣
 〈東京都〉 石田昭夫、今井正史、株式会社イメージブレーション千原卓司、株式会社ウエック・トレック、上原真知子・一茂、岡田信一、小川金三郎、小野寺えり子、鎌倉恵子、鎌田はなよ、神長善次、河野節子、木村慈子、黒田秀基、須田清法律事務所須田清、滝和美、株式会社トップ東京営業所、中川彰、西岡巖、西重正博、二瓶幸子、野村明賢、藤本紀子、松田重箕、山縣敏子

〈神奈川県〉 小林みよ子、島田正義、十河三郎、堀内弘栄、丸山進治・佳子、八木下克巳

〈長野県〉 株式会社アサマネット、井沢永美、井出正義、井出守雄、有限会社うずら家徳武敏幸・たつ子、内田守之、内山富之、奥野恵子、小笠沢浩一、小山田秀士、金子元昭、菊池健介、北澤純一、久保田寛人、黒沢勇人、高木洋子、小池文男、小林淳、小林展子、五味あつ美、齊藤一美、齊藤敏、坂井永一、澤山啓司、零田貢、有限会社大和印刷、滝沢千栄子、武内美栄子、田村由紀子、直井保彦、長野県連合青果株式会社、株式会社長門牧場代表取締役小林久雄、松久よし子、国際交流フェスティバル in 丸子、宮下静子、民進党長野県第三総支部、松林進、宮澤令行、山越好彦、横関絢子、六川楨彌、ジャイチ事務所寄附金箱
 〈新潟県〉 帯瀬憲五、小森修
 〈福井県〉 上田輝司
 〈岐阜県〉 庄村敏
 〈静岡県〉 伊熊武夫
 〈愛知県〉 伊藤正裕、合資会社中京堂浅井延子、後藤多恵子、白澤たづ子、都築宏子、本田忠彦、村瀬政子

〈滋賀県〉 岡田千尋、ふくろう基金玉田誠二、宮川一男
 〈兵庫県〉 新海泉、玉岡昇治
 〈和歌山県〉 中前孝啓
 〈鹿児島県〉 福吉巧
 〈北海道〉 中川洋子
 〈群馬県〉 川野竹子、島田寛治、松原啓子
 〈埼玉県〉 山田まゆみ
 〈東京都〉 安藤雅子、尾身嘉一・恭子、小池敏雄、佐瀬萬亀、滝和美

◆ 寄付品

〈佐賀県〉 平尾紀美子
 〈ネパールへ直接〉
 帯瀬憲五、Maxine Cooper

〈神奈川県〉 小林みよ子、櫻井道子・小山佐都子、鈴木貴久子、橋本敬子、長谷川安正、八木下克巳
 〈長野県〉 柿島明子、加藤美幸、菊池健介・道子、清住栄子、小平篤、小林展子、有限会社信濃ニット、有限会社大和印刷、滝沢英子、滝沢千栄子、武井美樹、田村由紀子、豊田祐一、長門小学校PTA子育て委員会、株式会社長門牧場代表取締役社長小林久雄、長門郵便局、福澤貴美恵、舟木公栄、堀邦昌、松

久よし子、松本筑摩東郵便局
 〈愛知県〉 白浜あけみ、株式会社大森器械店大森森次
 〈滋賀県〉 苗村善和
 〈大阪府〉 寺井早苗、鎌野富美子
 〈兵庫県〉 園田学園女子大学近松研究所乾安代、丸尾信

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れいたします。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

- ①所得控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。
- ②税額控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。
 (例 10,000円の寄附の場合 所得税が3,200円戻ります。)

上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。
 (税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
 - ◎郵便振替 00510-4-65434
 - ◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
 - 座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

▼イチゴ栽培に励む若い農業者たち



▼懇談会に参加したカカニ地区農民会のメンバー



カカニ地区の農業



25年ほど前、カカニ地域の農業振興のために設けられた実験研修農場から普及したイチゴ栽培は、これまでのトウモロコシや大根といった自給的作物から現金収入の伴う経済的農作物として地域農家の生活を大きく支えてきました。一時は栽培戸数も700戸ほどまで増え、カカニと言えばイチゴとまで言われるようになりました。

しかし、ネパールでも、農村部における高齢化、後継者不足は深刻な問題となっており、より現金収入を求めて海外へ出稼ぎに農村を出て行く若者は後を絶たない状態です。

カカニ地区においても抱える問題は同様で、現在の栽培農家は180戸ほどまでに減少してきています。一方、当地域でビニールハウスによる栽培方式を取り入れる農家が徐々に増えています。これは、日本の起業者と現地の農民によるプロジェクトとして取り組



▲土地を均してパイプビニールハウスによるイチゴ栽培が広がっている

みが始まったもので、灌漑システムを導入することや有機農法など効率的な栽培により品質の高いイチゴの生産をめざしています。

このプロジェクトも、ネパールの人たちに、より多くの雇用とよりよい生活を求めることを理念としており、新しい農業技術によって若いネパール人が自

国の土地に戻って農業を復活させ、それがネパールの経済復興に貢献することを期待しているものです。

政府も農業の新しいプロジェクトに取り組み動きが出てきていることから、当地区の農民会のリーダーもカカニ地区はイチゴのモデル地区として後継者に引継いで行かれる体制を作っていきたいとの熱意があり、ジャイチとしても引継いで協力していくこととしています。

これらの動きが、農村からの若者の流出に大きな起爆剤となれればと思います。

子どもが親を支えるシステムづくり

ネパールの新しい政策の中では、60歳以上の親に子どもが自分の収入の10%を与えようという制度が打ち出されています。

こうした傾向が続いていることから、今回の法律を改正して、就業している子どもたちが自分の親の口座を開設して収入の10%を送金するようにするもので、結婚した娘までも就業している場合は、実家の親に送金する必要があるようです。

関係省庁の調査によると、自分の子どもたちから親が虐待や侮辱を受ける事件が増えており、政府としても、高齢者の保護および社会的な保護をすることも、高齢者が持っている能力、経験が活かされ、尊敬感が高められるような環境を整えるため、2006年に高齢者に関する法律が作られました。実際に実施されています。

この制度は、まず公務員、警察、軍隊から始められる計画ですが、その後、いろいろな職業に携わる子どもたち全てを対象にしていくことになっており、親の口座に送金しないなどこの制度に違反した子どもたちには罰則が課せられることとなります。

子どもたちの中には、親の財産を自分の名義にして親を追い出してしまったといった事件も起きています。

親を虐待、侮辱したり、追いつすなどの行為も当然刑罰の対象とされています。

平成28年度 事業決算報告

科目	
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用益	1,830,586
特定資産運用益	189,563
受取寄附金	2,939,340
雑収益	146,866
2. 事業活動支出	
開発途上国への農業技術の向上と普及、農業・学校団体への助成・支援及び農業・教育の啓発事業	4,178,579
3. 管理費支出	976,511
事業活動収支差額	△48,735
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
2. 投資活動支出	
投資活動収支差額	△1,200,000
当期収支差額	△1,248,735
前期繰越収支差額	5,362,744
次期繰越収支差額	4,114,009



今年のジャイチツアー 第21回 JAITIツアー 参加者募集



昨年のツアーは試みに日数をコンパクトにして8日間の日程で実施しましたが、ゆとりを持ちながらネパールの魅力を肌で感ずることができた旅となったと思います。

天候に恵まれたこともさることながら、現地を案内してくれるケシーさんの献身的でユーモラスな人柄に触れながら、参加していただいた皆さんが家族同様の時間を過ごせることもジャイチツアーの魅力です。ネパールの子どもたちも皆さんの訪問を心待ちにしていますよ。

- ◆実施日
平成二九年十一月八日(水)～十五日(水) 六泊八日
- ◆旅程
【一日目】
羽田→香港→カトマンズ
- 【二日目】
レカリバシファント学校訪問
- 【三日目】
学校→カトマンズ市内観光
- 【四日目】
カトマンズ→ポカラ観光
- 【五日目】
ポカラ(ミニトレッキング)→カトマンズ
- 【六日目】
マウンテンフライト(エベレスト眺望)・カカニ・プライター学校訪問

事務局だより

▼ジャイチ

- 1月 ・機関紙52号の作業と発送
- 2月 ・平成29年度事業計画・予算案の作成
・国際協力フェスin丸子実行委員会出席
- 3月 ・常務理事ネパールへ総合指導及び農業指導
・理事会開催(事業計画・収支予算等の承認、職務執行状況報告)
・内閣府へ平成29年度の事業計画書等を提出
- 4月 ・決算準備・上田市に法人税の減免申請書を提出、6月12日承認
- 5月 ・平成28年度の決算監査実施
・国際交流フェスin丸子里に出展
・理事会開催(平成28年度事業報告・決算等の承認、職務執行状況報告)
- 6月 ・定時評議員会開催(平成28年度事業報告・決算の承認)
・内閣府へ平成28年度事業報告書等を提出
・機関紙53号企画

▼ジャイチネパール

- 1月 ・冬休みに入る ・3学期試験
・プライター学校スクールバス購入計画
- 2月 ・SEE受験の準備
・プライター学校幼稚クラス増加の検討
- 3月 ・学年末の最終試験・スピーチコンテスト
・SEE試験レカリ・バシファント学校38名、プライター学校16名の受験
- 4月 ・レカリ学校屋根・壁のペンキの塗り替え
・新学期 プライター学校236人、レカリ・バシファント学校456人
- 5月 ・レカリ・バシファント学校教師研修
・プライター学校8年生郡レベルの試験
- 6月 ・ネパール地方選挙 SEE全員合格
・レカリ・バシファント学校学生寮2棟建設

バザーのお知らせ

9/3(日) あいとびあ白田(佐久市)

- 【七日目】
カトマンズ市内観光→香港
- 【八日目】
香港→羽田
- ◆旅行代金
お一人様 二十九万円
全行程中の交通費(航空機はエコノミークラス)、宿泊、食事代を含みます。但し日本国内の交通費と海外旅行保険は別途になります。
- ◆申し込み期限
八月三十一日(木)
- ◆問い合わせ・申し込み方法
電話、ファックスにて下記

お問い合わせください。募集要項、申込書をお送りいたします。

企画 ジャイチ事務局
長野県上田市武石沖六〇五五
TEL〇二六八八五二四六五
FAX〇二六八八五二五八三
主催 (株)西遊旅行
東京都千代田区神田保町一三二一
観光庁長官登録旅行業第六〇七号日本旅行業正会員
TEL〇三二三三三七七八四
FAX〇三二三三三七七〇六三八

書き損じハガキを送って下さい。 未使用も歓迎。

年賀ハガキの書き損じ・余りも歓迎
(古いものもOKです)
(切手に交換し、通信費に役立させていただきます。)

集めています

寄付品	用途	
文房具	定規・鉛筆など	学校生徒用
毛糸	帽子を編みます	レカリ・バシファント学校1・2年生用
	編みぐるみ・タワシなどのバザー用品をつくります	
布	はぎれ	児童の通学カバン
日本手拭・タオル	未使用のもの	ネパールの学校用ほか
使用済切手	換金します (未使用切手も歓迎)	ネパールの学校の運営費 (切手の周りを5ミリ残してください)

(使用済切手につきましては、寄付品協力欄にお名前を掲載しまして、謝意を表します。)

物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。

向井田コウ様 岩手県盛岡市

小幡 裕様 東京都豊島区

十七年一月十六年

お願い

ネパールへのジャイチの荷物運搬(主に学校の布カバン、文房具等)のお手伝いをしてくださる方は是非ご連絡下さい。

編集後記

今号では、変るネパールの情勢が多く取り上げられる結果となりました。内乱が続いて地方選挙が行われず、これまで地方のトップがいなかったということです。やはり地域の声が反映され国民の総意に基づいて国づくりが進められることにより、連邦民主共和国を掲げる真のネパールの国名にふさわしいものとなるものであり、そうなって欲しいものです。変化することは時に必要ですが、急激な変化によってネパールの人々が翻弄されなければよいことを願います。